

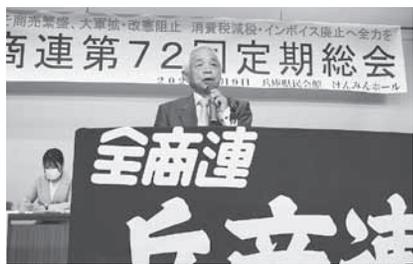
兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会
発行 兵庫県商工団体連合会
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2024年7月
第383号

仲間を増やして 要求実現 民商の魅力を 発信!

兵商連第72回定期総会 開く



6月9日兵庫県民会館で「平和でこそ商売繁盛、大軍拡・改憲阻止 消費税減税・インボイス廃止へ全力を」をスローガンに、兵商連第72回定期総会が開かれ、役員・代議員・評議員150人が参加しました。

土谷洋男会長は、「自民党は裏金問題など企業・団体献金でゆがんだ金権腐敗政治をすすめている。大企業・富裕層に減税、国民には大増税では景気の回復は見込めない。商売とくらしが困窮する中、自民党政治を終わらせ、地域経済を振興させる。これが危機打開の道だ。今こそ、集まって、話し合い、相談し、助け合う活動が求められている。力を合わせ、奮闘しよう」と会を代表し挨拶しました。

兵庫労連の成山太志議長、日本共産党兵庫県委員会のこむら潤さんが連帯の挨拶を行い、「共同の取り組みを広げ、地域から自民党政治を終わらせましょう」と訴えました。

活動報告・運動方針の提案を那須由美子事務局長が行い、「国民・中小業者の商売とくらしに深刻な影響を与えている自民党の悪政から新しい政治をめざす運動、大軍拡・大増税反対の訴えを強めよう。また、地域循環型経済を進めていくため

午後からは、6つの分散会に分かれて話し合いました。

第1分散会は、「物価高騰、人件費の値上げ、高齢化も伴い廃業が目立つ。自分の努力だけではどうしようもない。こんな時こそ民商の会員どうしの助け合いが必要」と。

第2分散会は、「民商の魅力は自主計算・自主申告だけではない。色んなことが学べる。そのことを多くの人に知らせていくのが

大切では」と。

第3分散会では、「どこでも商工新聞の配布が郵送になり、集金が振り込みになって会員との関係が希薄になっている。仲間どうし声をかける活動を続けていきたい」と。

第4分散会は、「会員の紹介で入会はあるが、それを上まわる会員減が続いている」「民商に入るメリットをどうアピールするか。会員の言葉で語ってもらえるよう取り組

みを進めよう」と。

第5分散会は、「全商連総会では、沖繩で1つの民商ができた一方、全国で14の民商がなくなったとの報告があった。地域に民商があることが大切」「自主計算・自主申告での相談は役員・事務局で対応している。自主計算を通じ、税務調査も自信をもって対応できた方もいる」と。

第6分散会では、「国

商売・くらし・民商運動を語り合った分散会

の無策によって物価高騰に歯止めがかからないことを国民ひとり一人が意識し、行動することが大切だ」「定期的に多様な相談会を役員と一緒に開いている。制度を皆で学び対応する中、組織の力になっている」と。

7年ぶりの分散会は、運動や意見の交流が力になりました。

全商連第56回総会、民商・兵商連から44人が参加

兵商連は第3回理事会で、「全商連の成功に向けて、会員比3パーセントの読者拡大をやり遂げ参加しよう」との運動方針を決め、4月から読者299人、会員103人を拡大。各地で役員・会員のつながりを生かした購読の呼びかけなど、「行動すれば成果につながる」と確信になりました。

「全商連総会表彰基準突破」前総会時現勢突破（単純拡大率読者20%、会員10%）読者 神戸北、高砂 会員 神戸北、高砂 【会員比3%の読者拡大達成民商】 三田、東灘、兵庫、神戸北、垂水、明石、はりま中央、北はりま、高砂、揖保

（Y）

総会は運動方針案、決算・予算案ともに満場一致で採択。方針の実践の先頭に立つ新役員を選出し、「大軍拡・改憲阻止・消費税減税・インボイス廃止！平和と商売を守る 民商・全商連運動の発展

を」の特別決議案を拍手で採択。

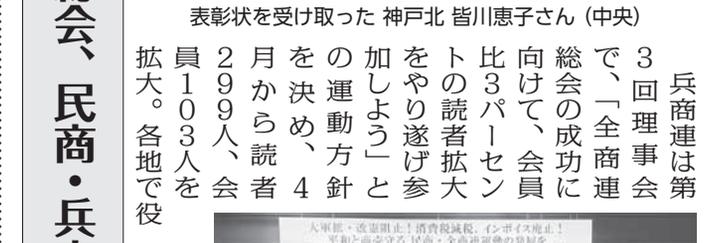
最後に、「全県が団結し、集まって、話し合い、相談し、助け合う、あったか民商をつくり、年間増勢を切り開こう。6月末に開かれる全商連共済会の成

功に向け、全民商が加入者を増やそう」と決意を固め合い、閉会しました。

▼全商連第56回総会の成功にむけて、兵商連は会員比3%の読者拡大を目標とし奮闘した。我民商は、役員、会員、婦人部、青年部が力を合わせ、元会員へ電話で購読を訴え、知人に購読をお願いし読者が増えた。1人、2人と拡大するたびに、「やったらできる」と確信が広がり、会員比3%の読者拡大が達成できた▼商工新聞は、社会面、政治面、経営対策、生活相談、各地の取り組みなど紙面が充実し、500円以上の価値がある。私たちにとってかけがえのない新聞。まさに、商工新聞は「もうかりマップ」▼デジタル化がすすんでも、集まって、話し合い、相談し、助け合う民商の取り組みは大切だ。「〇〇さんがこんな事でこまっているよ」「〇〇さんが入院しているけど、共済の手続きさせなアカンね」と、組織集金では会員からよく声がかかる。人と人がつながっているからこそ、できる活動ではないか▼「助け合う仲間がいる」それが民商。仲間の知恵を寄せ合い、きびしい時代を乗り越えよう。

▼全商連第56回定期総会 表彰状を受け取った 神戸北 皆川恵子さん（中央）

（Y）



「全商連総会表彰基準突破」前総会時現勢突破（単純拡大率読者20%、会員10%）読者 神戸北、高砂 会員 神戸北、高砂 【会員比3%の読者拡大達成民商】 三田、東灘、兵庫、神戸北、垂水、明石、はりま中央、北はりま、高砂、揖保

「全商連総会表彰基準突破」前総会時現勢突破（単純拡大率読者20%、会員10%）読者 神戸北、高砂 会員 神戸北、高砂 【会員比3%の読者拡大達成民商】 三田、東灘、兵庫、神戸北、垂水、明石、はりま中央、北はりま、高砂、揖保

「全商連総会表彰基準突破」前総会時現勢突破（単純拡大率読者20%、会員10%）読者 神戸北、高砂 会員 神戸北、高砂 【会員比3%の読者拡大達成民商】 三田、東灘、兵庫、神戸北、垂水、明石、はりま中央、北はりま、高砂、揖保

（Y）





仲間どうし、集まって、民商を盛り上げよう

毎月の役員会で仲間の状況も話し合って「垂水民商・舞子多聞支部」



6月17日、舞子多聞支部の役員会が会員の電気店で開かれ、6人が参加しました。

鎌田礼子支部長から、会員の状況や、組織現勢の増減、支部での要求運動などが話された。4キロもやせて、山口由美子事務局長は、「所得税と連動して、住民税と国保料も高くなる。申請型の換金の猶予を使って、融資の申し込みも考えま

しょう」と話されました。調査を受けた役員からは「民商の記帳学習会で自主計算を覚えた」「これから税務調査に会った仲間を勇気づけたい」などの思いが出されます。

役員づくりでは、「若い人に声を掛けよう」と話されました。調査を受けた役員からは「民商の記帳学習会で自主計算を覚えた」「これから税務調査に会った仲間を勇気づけたい」などの思いが出されます。

交流し、つながりをつくろう

「姫路民商・白浜支部」



姫路民商では、7月21日の民商と共済会の総会に向けて、役員・代議員の選出のため、各地で支部総会を開いています。6月13日白浜支部では、居酒屋「蛸」で支部総会を開き、支部会員数78人のうち、9組10人

平和と憲法を守ろう

沖縄を二度と戦場にしない

6月7日告示、16日投票で沖縄県議選が行われました。「沖縄を二度と戦場にしない」「誰一人取り残さない」を訴える玉城デニー知事。知事を支える「オール沖縄候補」の過半数獲得をめざし、沖縄県連会長の訴えに応え、民商・兵商連からも現地支

援、募金、沖縄在住の知人への声かけを強めました。現地には、兵庫民商、兵庫県連が支援に入りました。

兵庫民商の事務局員からは、「大雨の中、ピラをまきながら思ったのは、中心地から少し離れた町がさびれているのを見て格差を感じた。『平和で豊か

な沖縄』が必要と実感した」と。最終盤、那覇民商に入った兵商連の土谷洋男会長は、公設市場の会員を訪

問し、基地建設も触れながら、「税金は県民のために使おう。消費税を引き下げ、インボイスを廃止し景気回復させよう」と訴えました。

県議選は、自民党候補が新基地建設や沖縄をはじめ南西諸島の軍事要



公設市場で話しかける 土谷会長

塞化について一切口をつぐむ一方、本土大手企業が県内企業を締め付けるなど異常な企

業・団体ぐるみ選挙を行ない、熾烈なたたかいとなりました。

結果、「オール沖縄」の議員は過半数を割りましたが、報道各社の出口調査では、知事の政治姿勢は県民の67割が評価しているとの結果が示されています。

戦争をする国づくりストップ、平和な沖縄、日本をつくるため、辺野古新基地建設反対をかかげ、皆で行動しましょう。

私の商売ものがたり

NO.257

河本博秋さん (豊屋) 伊丹民商



大手にはできない仕事を

と事務局2人が参加しました。

まずは、会員どうしの自己紹介。事務局からは、「現在、組織集金が5組13人、組織配達が2組6人なので、さらに協力をのり、広げていきましょう」と訴えがありました。

柴田恵介支部長(建設業)からは、「昨年

民商・兵商連も加入する消費税廃止兵庫県各界連絡会は、毎月24日の定例宣伝に取り組んでいます。

5月24日の宣伝では、「次々値上げされ、負担が大きい。今減税が必要」と男性が署名に応じてくれました。

景気回復に必要なのは、消費税減税

【各界連宣伝行動】



河本豊店は、先代が60年前に伊丹で開業し、二代目の私が高校卒業と同時に家業を手伝いはじめ、受け継ぎました。今、和室の少ない高層マンションやデザイン住宅が増え、豊の需要は年々減少しています。また、大規模ラインで生産している大手企業とは価格では勝負出来ないため、小規模の豊屋は、きびしさが増えています。私は細かい

オーダーメイドの商品を提供することで大手との差別化を図っています。また、市内の小規模の豊屋が互いに得意とする仕事を分業し、利益確保に努めている現状です。昨年から民商の理事になり、今年2月に全中連の集会に参加し、初めて国会議員要請に行きました。中小業者のきびしい経営状況やインボイス制度廃止を

理事に新しく林和則さん(建設業)、理事には引き続き柴田恵介さんが提案され、拍手で確認。商売やくらし、民商を語り合い、「また集まろう」と閉会しました。(姫路・柴田通信員)

河本豊店 〒664-0886 伊丹市昆陽東 1丁目7-19 ☎072-781-1849 (伊丹・小林通信員)

経営情報

健康保険証と一体化した「マイナ保険証」の利用率は低迷。相次ぐトラブルにもかかわらず、今年12月2日に現行の健康保険証が廃止されます。マイナ保険証がない方には申請なしで「資格確認書」が交付。引き続き医療を受ける事ができます。「保険証を残せ」の声を上げましょう。

編集後記

税負担だけでなくインボイス・定額減税の実務負担も押し付ける岸田政権。これでは国のために働いているようなもの。内閣支持率過去最低も納得。国民は自民党政治にうんざり。都知事選で風穴をあけましょう。(H)